

# 生命機能における再生の現代像

主催：河合文化教育研究所

## プログラム

15:00～ 挨拶・導入

**長野 敬** 遺伝学の辿った道  
—生命の驚異から、分子の仕組みへ

15:20～ 講演

**仲野 徹** エピジェネティクスとは？  
—動物における生殖とリプログラミング

16:20～ 講演

**杉山宗隆** 再生しやすさの理解を目指して  
—植物からのアプローチ

17:20～ 質疑応答



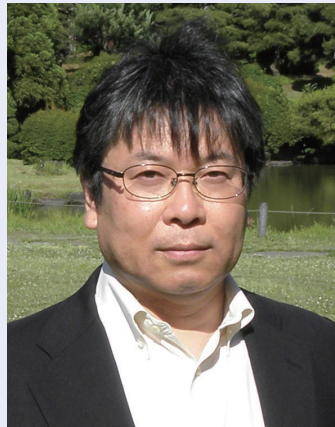
**長野 敬** (ながの けい)  
(文教研 主任研究員)

河合文化教育研究所 主任研究員  
1929年生まれ。東京大学理学部植物学科卒業。自治医科大学医学部教授を経て、現在同大学名誉教授、河合文化教育研究所主任研究員。  
専攻-細胞生物学。著書『生物学の旗手たち』『進化論のらせん階段』『生物の内景から』『生物学の最前線』『生命の起原論争』他に共著、翻訳書など多数



**仲野 徹** (なかの とおる)  
(大阪大学大学院 教授)

大阪大学大学院医学系研究科生命機能研究科 教授  
1957年大阪生まれ。1981年大阪大学医学部卒業。内科医としての勤務、大阪大学医学部助手、ヨーロッパ分子生物学研究所研究員、京都大学医学部講師、大阪大学微生物病研究所教授を経て現職。専攻-エピジェネティクス、幹細胞学。著書『エピジェネティクス-新しい生命像をえがく』『カラーイラストでよくわかる幹細胞とクローン-全能性のしくみから再生医学まで』『なかのとおるの生命科学者の伝記を読む』



**杉山宗隆** (すぎやま むねたか)  
(東京大学大学院 准教授)

東京大学大学院理学系研究科附属植物園 准教授  
1961年岐阜県生まれ。1983年東京大学理学部卒業。東北大学で理学博士号取得。日本学術振興会特別研究員。東北大学理学部助手、東京大学理学部講師を経て、現在東京大学大学院理学系研究科准教授。  
専攻-植物生理学、植物分子遺伝学

●日時：2015年7月5日(日) 15:00～18:00 ●会場：河合塾麴町校 デルファイホール



シロイヌナズナ

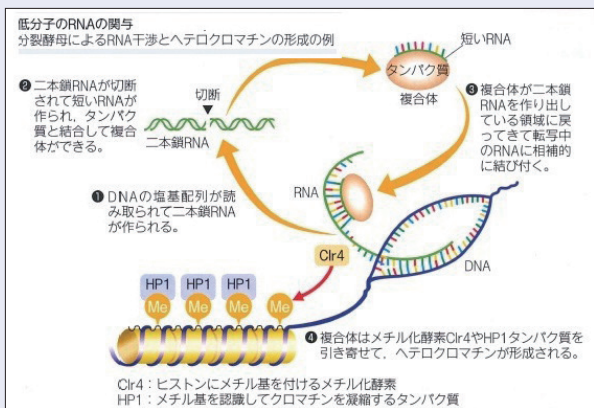
両親（雌雄）から子ができてくる有性生殖は、われわれにとって身近なものだが、その仕組みが大枠にせよわかってきたのはせいぜいこの1世紀半。しかし、仕組みの一部分は、細胞・分子の言葉でも語る

ことができるようになった。他方また、一度できた個体の一部分から再び全体ができる再生も、生殖と同じ道筋をもつという理解も進んできた。

現場の医学では再生医療に突破口として期待がかかる。ひろく各種の生物の再生研究にも関心は高いが、動物と植物ではずいぶん様子が違い（植物の挿し木、株分けなど）、概して再生のむずかしい動物でも一部の種は目覚ましい再生能力をもつ（トカゲの尾やイモリの脚の再生）など、謎も多い。

今回は入門的な案内として、(1)有性生殖と再生の共通性とはどういうことで、どの程度理解が進んでいるのか、(2)再生では、ある分化状態で取まっている細胞がその状態を脱して（脱分化）再度増殖を始めることが必要で、動物と植物でこの事態の生じやすさに大きな違いがあるように見えるのだが、違いは本質的なものか、乗り越え可能なのかなどの問題にどこまで迫っているのか等の現況を、なるべく分かりやすく紹介したい。

エピジェネティックな変化



日時 2015年7月5日(日) 15:00~18:00

会場 河合塾麹町校 デルファイホール

〒102-0085 千代田区六番町 1-3 ☎0120-192599

- JR 総武線・東京メトロ有楽町線・南北線・都営新宿線 市ヶ谷駅下車 3番出口徒歩 3分
- JR 中央線・総武線 四ツ谷駅下車 麹町口徒歩 5分
- 東京メトロ丸ノ内線 四ツ谷駅下車 1番出口徒歩 6分
- 東京メトロ有楽町線 麹町駅下車 6番出口徒歩 2分

入場無料  
申込不要

※どなたでも自由に  
参加できます。

